



Thor™ VM3

車載コンピュータ

クイック スタート ガイド

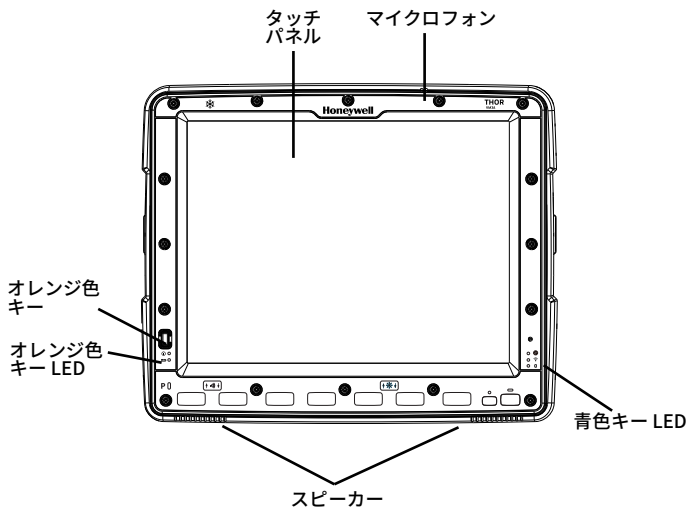
パッケージ内容を確認する

パッケージに次のものが含まれていることを確認してください。

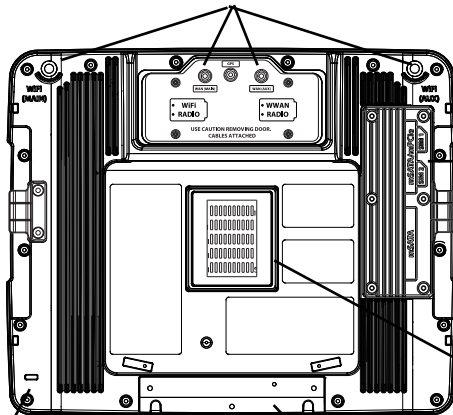
- Thor VM3車載 コンピュータ（モデル VM3WLAN, VM3WWANUS, VM3WWANEU）
- 規制シート

コンピュータの追加アクセサリを注文された場合は、それも同梱されていることを確認してください。修理のためにコンピュータを返送する場合に備えて、元のパッケージを捨てずに保管しておいてください。

コンピュータの機能



Wi-Fi/BT



SD カード
アクセス
パネル

ドック接触
パッド

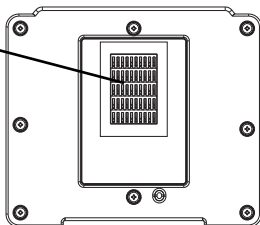
ラップトップ
セキュリティ
ケーブル用通し穴

南京錠用通し穴

クイックリリース
ハンドル

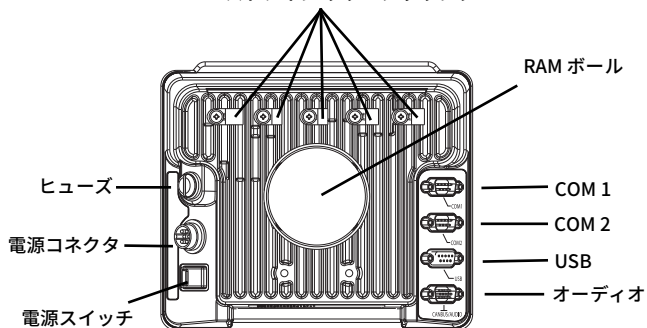
ドックの機能

ドック接触パッド

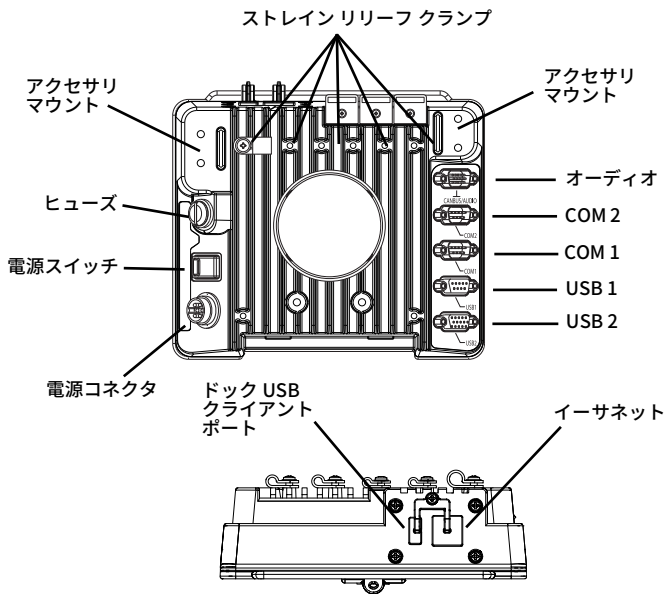


標準ドック

ストレインリリーフクランプ



拡張ドック



車両への取り付け

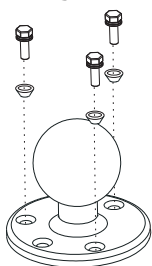
Thor VM3 は、以下の車両の領域に固定する必要があります。

- 運転者の視界や車両の安全な運転を妨げない。
- 雨や悪天候から守られる。
- 非常に高濃度の粉塵や風で飛ばされたゴミから保護される。
- 車両が運転中ではないとき、運転席に座っているユーザーが容易にアクセスできる

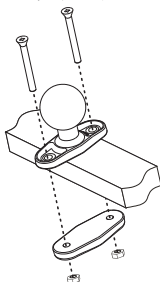
RAM マウントシステムを使用して VM3 を取り付けるには:

1. RAM ベースを車両に取り付けます (RAM ボール、RAM クランプ、RAM プレートなど)。

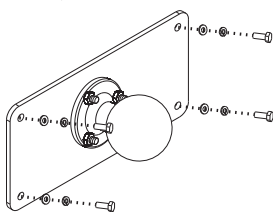
RAM ボール



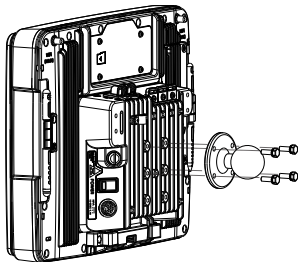
RAM クランプ



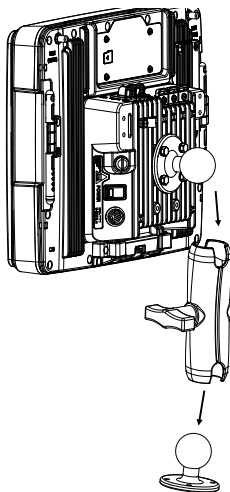
RAM プレート



2. RAM ボールをスマートドックに取り付けます。



3. RAM アームを使用して VM3 アセンブリを RAM ベースに取り付け、RAM アームのノブを締めます。



取り付け方法の詳細については、sps.honeywell.com より
ユーザーガイドを参照してください。

12 ~ 48 VDC の車両の電源ケーブルの接続 (10 ~ 60 VDC の直接接続)

注: その他の電源接続については、『*Thor VM3 User Guide*』
(sps.honeywell.com) を参照してください。



注意: 訓練を受けたサービス担当者のみが取り付けことができます。



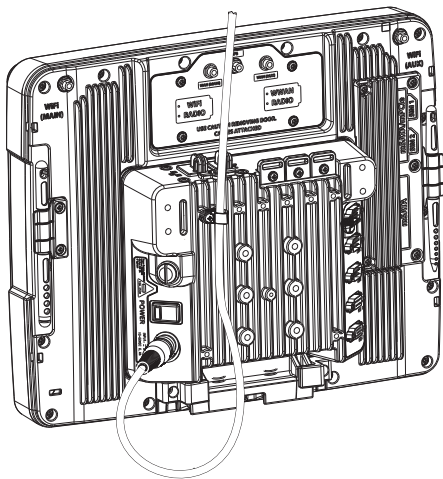
警告: ヒューズの要件

正しく、かつ安全に取り付けるには、車両のヒューズ付き回路に入力電源ケーブルを接続する必要があります。電源をバッテリーに直接接続する場合は、バッテリーのプラス (+) 端子から 12.7 cm (5 インチ) 以内のプラスのリード線にヒューズを取り付ける必要があります。ヒューズ付き回路には、以下に示す定格電流の最大時間遅延 (スローブロー) ヒューズが必要です。

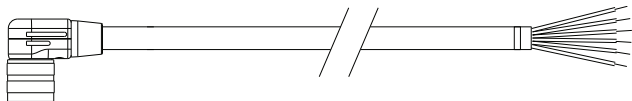
- 12VDC 入力の場合は、DC 電圧定格が 12VDC より大きい 10A のスローブロー ヒューズを使用します。
- 24VDC 入力の場合は、DC 電圧定格が 24VDC より大きい 6A のスローブロー ヒューズを使用します。
- 36VDC 入力の場合は、DC 電圧定格が 36VDC より大きい 4A のスローブロー ヒューズを使用します。
- 48VDC 入力の場合は、DC 電圧定格が 48VDC より大きい 3A のスローブロー ヒューズを使用します。

注: 北米では、UL 規格のヒューズを使用する必要があります。

電源ケーブルの配線



電源ケーブルの配線図 (L 時型および 6 ワイヤ)



車両の電源に接続する前に、赤色と赤色/白色ワイヤをねじり合わせて、黒色と黒色/白色ワイヤをねじり合わせます。

緑色のワイヤを車両のアース端子に接続します。



注意： バッテリー駆動の車両の場合は、緑色のワイヤーを車両のシャーシアースに接続する必要があります。

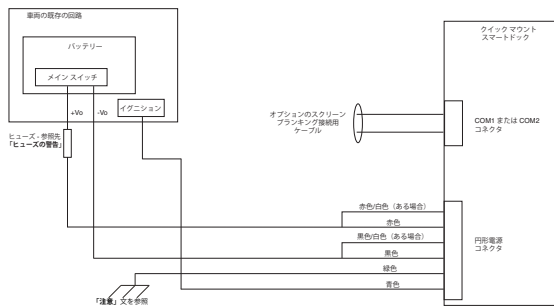


注意： 内燃機関駆動の車両の場合は、緑のワイヤーを車両のシャーシアース (バッテリーのマイナス端子の場合もあります) に接続する必要があります。

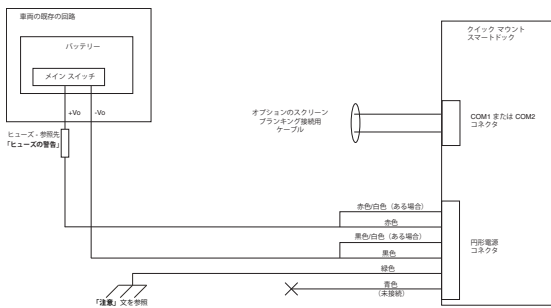
ワイヤの色	接続
赤色	DC + (10 ~ 60 VDC)
赤色 / 白色	DC + (10 ~ 60 VDC)
黒色	DC -
黒色 / 白色	DC -
緑色	アース
青色	イグニションセンス入力 (オプション) イグニション制御の詳細については、『Thor VM3 User Guide』 (sps.honeywell.com) を参照してください。

車両 10 ~ 60 VDC 直接電力接続

1. VM3 は、ドックに取り付けないでください。ドックの電源スイッチはオフにする必要があります。電源ケーブルのプラグはドックから抜いておく必要があります。
2. 「ヒューズの要件」を確認しながら、車両の実際のバッテリー端子にできるだけ近づけながら電源ケーブルを接続します（非連動電源を使用する場合）。
3. ケーブルを終端処理するための、適切な電気的および機械的締結手段を使用します。適切なサイズの「圧着」タイプの電気端子は、終端処理の方法として使用できます。20AWG (0.81mm²) 導体を使用できるサイズの電気コネクタを選択します。
4. 以下の配線図で、ワイヤの色と接続を確認してください。
 - イグニション制御配線図
スイッチング方式の車両電源が使用可能な場合は、イグニションコードを接続できます。VM3 は、車両のイグニションがオンになると、起動します。



- 自動オン制御および手動制御の配線図イグニッションコードは未接続のままにしておく必要があります。



注意：バッテリー駆動車両の場合

赤色および赤色 / 白色ワイヤがバッテリーをねじり合わせて、バッテリーのプラス端子に接続します。黒色および黒色/白色ワイヤがバッテリーをねじり合わせて、バッテリーのマイナス端子に接続します。緑色ワイヤを車両のシャーシアースに接続します。

注意：内燃機関駆動の車両の場合

赤色および赤色 / 白色ワイヤがバッテリーをねじり合わせて、バッテリーのプラス端子に接続します。黒色および黒色/白色ワイヤがバッテリーをねじり合わせて、バッテリーのマイナス端子に接続します。緑色ワイヤを車両のシャーシアース (バッテリーのマイナス端子の場合もあります) に接続します。

5. ケーブルは、車両の安全な操作とメンテナンスを妨げないようにしながら、残りのケーブルを取り除いて、できるだけ最短の距離で配線します。ケーブルの最大定格温度は105°C (221°F) です。ケーブルは、この温度を超える表面や、可動部の物理的な損傷や、絶縁体の劣化の原因となる化学物質や油から保護される必要があります。鋭角的に曲げないようにしてください。電源ケーブルは、低温環境では柔軟性が低下します。
6. ケーブルは、締め付けすぎたり、導体を挟んだり、絶縁物をひどく損傷しないように注意しながら、約 30cm (1 フィート) 間隔で車両構造に固定します。
7. コネクターのピンを電源コネクターに合わせながら、電源ケーブルの防水コネクターの端部をドックの電源コネクターに接続します。防水コネクターを下方に押し、ねじ回してしっかりと固定します。
8. ストレイン リリーフ ケーブル クランプを使用して電源ケーブルを VM3 に固定します。
9. VM3 をドックに配置します。
10. スクリーン ブランキング機能を使用する場合は、スクリーン ブランキング ボックスまたはスイッチを取り付けます (スクリーン ブランキング ボックスの詳細については、『Thor VM3 User Guide』 (sps.honeywell.com) を参照してください)。
11. ドックの背面にある電源スイッチを押します。
12. VM3の前面にある電源ボタンを押します。
13. 自動オン動作を設定します。

日本語の有効化

工場出荷時、Thor VM3 の操作言語が英語に設定されている可能性があります。日本語に切り替えるには次の方法に従ってください。

Windows Embedded Compact 7

Thor VM3 上にインストールされた時点で、これはマルチ言語オペレーティングシステムに対応しています。

1. [Start](**スタート**) > [Settings](**設定**) > [Control Panel](**コントロール パネル**) > [Regional and Language Settings](**地域と言語**) の順に選択します。
2. [**User Interface Language**](**ユーザー インタフェース言語**) タブを選択します。
3. プルダウンリストから [**Japanese (Japan)**](**日本語(日本)**) を選択します。
4. [**OK**] をタップします。
5. Thor VM3 を再始動します。

Windows 7

Thor VM3 上にインストールされた時点で、これは単一言語オペレーティングシステムに対応しています。言語の設定を変更する必要がある場合は、カスタマーサポートにお問い合わせの上、日本語用の修復 DVD を注文してください。

Windows Embedded Standard 7

Thor VM3 上にインストールされた時点で、これは英語のみのオペレーティングシステムに対応する可能性があります。追加言語をインストールするには、次の手順に従います。

1. [Start](開始) > [Control Panel](コントロール パネル) > [Regional and Language Settings](地域と言語) の順に選択します。
2. **[Keyboards and Languages]**(キーボードと言語) タブを選択します。
3. **[Install/uninstall languages]**(言語のインストール/アンインストール) をタップします。
4. **[User Access Control]**(ユーザーアクセスコントロール) のメッセージが表示される場合は、**[Yes]**(はい) で確定し、変更を反映します。
5. **[Install display languages]**(表示言語のインストール) をタップします。
6. **[Browse computer or network]**(コンピュータまたはネットワークを参照) をタップします。
7. **[Browse]**(参照) ボタンをクリックして、**C:\Honeywell\LanguagePacks** を参照します。
8. **Japanese** フォルダを選択し、**[OK]** をタップします。
9. **[Microsoft License Terms (利用規約)]**を受け入れて、**[Next]**(次へ) をタップします。
10. インストールが完了したら、**[Next]**(次へ) をタップします。
11. **[Choose a display language]**(表示言語の選択) プルダウンリストから **[Japanese]**(日本語) を選択します。
12. 必要に応じて、ウェルカム スクリーンとすべてのアカウントに適用するよう選択します。
13. 再始動を促すメッセージが表示されたら Thor VM3 を再始動し

ます。

Windows 10

Thor VM3 上にインストールされた時点で、これは英語のみのオペレーティングシステムに対応する可能性があります。言語のインストール時には Windows Update サイトからファイルをダウンロードするため、インターネット接続が必要です。追加言語をインストールするには、次の手順に従います。

1. [Start](開始) > [Settings](設定) > [Time & Language](時間と言語) > [Region & Language](地域と言語) をタップします。
2. **[Add a language]**(言語を追加) をタップします。
3. **[Japanese]**(日本語) をタップします。
4. **[Add a language]**(言語を追加) の下に **[Japanese (日本語)]** が表示されるようになりました。
5. **[日本語]** をタップします。
6. **[Options]**(オプション) をタップします。
7. **[Download language pack]**(言語パックのダウンロード) の下で **[Download]**(ダウンロード) ボタンをタップします。
8. ダウンロードが完了したら、**Language pack installed** (言語パックのインストール完了) と表示されます。
9. 画面の上部左で、←(後ろ向きの矢印アイコン) をタップします。
10. **[日本語]** をタップします。
11. **[Set as default]**(デフォルトとして設定) をタップします。
12. Thor VM3 を再始動します。

Thor VM3 ソフトウェアをセットアップする

注意: Thor VM3 のセットアップを開始する前に、次の情報をお手元に準備してください。

- アクセスポイントのネットワーク ID (SSID)
- 無線ネットワークの認証用資格情報

1. 外部電源に Thor VM3 を接続します。
2. [Power](電源) ボタンを押します。
3. セットアップ処理中には USB 式のキーボードを接続します。
4. EULA を受け入れます。
5. タッチスクリーンの校正を行います (抵抗膜式タッチスクリーンのみ、PCAP タッチスクリーンには適用されません)。
6. 日時を設定します。
7. ラジオパラメータを編集します。
8. [Enterprise Control Panel](エンタープライズコントロールパネル) の設定を編集します (例:Bluetooth スキャン、エンタープライズ設定など)
9. RFTerm または Enterprise TE Terminal Emulation のパラメータを編集します (オプション)。
10. 再始動します。

Bluetooth

Thor VM3 Bluetooth の使用に関する詳細は、当社の Web サイト www.honeywellaidc.com で Thor VM3 ユーザーガイドを参照してください。

無線ネットワーク設定

WLAN 接続を設定するには、Honeywell Wireless Configuration Utility (WCU) を使用します。

1. [Admin Login](管理者ログイン) をタップします。
2. パスワードを入力します。デフォルト パスワードは **[Honeywell]** です。
3. 新規プロフィールを作成するには、**[New]**(新規) をタップします。
4. **[Create an auto profile]**(自動プロフィールの作成) を選択します。
5. プロフィール名とネットワークの SSID を入力します。
6. **[Next]**(次へ) をタップします。
7. **[Change connection settings]**(接続設定の変更) をタップします。
8. セキュリティと暗号方式を選択して **[Security]**(セキュリティ) タブの入力を完了します。
9. 指定したセキュリティと暗号化によっては追加の入力が必要になる場合があります。
10. 完了したら **[OK]** をタップします。
11. **[Connect to...]**(接続先) をタップしてネットワークに接続します。

詳細については、www.honeywellaidc.com で入手できる *Thor VM3 ユーザーガイド* をご覧ください。

端末エミュレーションに接続する

Thor VM3 は RFTerm® や Enterprise TE などの、端末エミュレータに対応しています。

ホスト接続を確立する前に、最低でも次の情報を確保しておく必要があります。

- ホストの別名またはIPアドレス (ホストアドレス)
 - ホスト・セッションを正しくセットアップするためのホストシステムのポート番号 (Telnet ポート)
1. モバイル クライアント ネットワークが適切に設定されていることを確認してください。WLAN (802.11x) 経由で接続する場合は、Thor VM3 がネットワークに接続されていることを確認してください。
 2. 端末エミュレーションプログラムを起動します。
 3. 詳細については、www.honeywellaidc.com で入手できる *RFTerm ユーザーガイド*、または *Enterprise TE ユーザーガイド* を参照してください。

Thor VM3 を再始動します。

Windows Embedded Compact 7 で Thor VM3 を再始動するには：

1. [Start](開始) > [Settings](設定) > [Control Panel](コントロールパネル) > [Registry](レジストリ) の順に選択します。
2. **[Restart](再始動)**

他の Windows オペレーティングシステムで Thor VM3 を再始動するには：

1. [Start](開始) > [Shutdown](シャットダウン) > [Restart](再始動) の順に選択して再始動します。

Thor VM3 が再始動中には無線クライアント接続、アプリケーションの起動、リモート管理の完了、Bluetooth デバイスの接続などにわずかながら遅延が生じる可能性があります。

サポート

ナレッジベースで解決策を検索したり、技術サポート ポータルにログインして問題を報告するには、honeywell.com/PSstechnicalsupport に移動してください。

ユーザー ドキュメント

ユーザー ガイドや他のドキュメントについては、sps.honeywell.com に移動してください。

限定保証

保証情報については、sps.honeywell.com に移動し、**Support** (リソース) > **Warranties** (保証) をクリックしてください。

特許

特許情報については、www.hsmpats.com を参照してください。

Disclaimer

Honeywell International Inc. (“HII”) reserves the right to make changes in specifications and other information contained in this document without prior notice, and the reader should in all cases consult HII to determine whether any such changes have been made. HII makes no representation or warranties regarding the information provided in this publication.

HII shall not be liable for technical or editorial errors or omissions contained herein; nor for incidental or consequential damages resulting from the furnishing, performance, or use of this material. HII disclaims all responsibility for the selection and use of software and/or hardware to achieve intended results.

This document contains proprietary information that is protected by copyright. All rights are reserved. No part of this document may be photocopied, reproduced, or translated into another language without the prior written consent of HII.

Copyright © 2024 Honeywell Group of Companies.
All rights reserved.

